



学習指導略案

神崎郡福崎町立福崎小学校
 松本 正樹

指導計画		
第1時	パソコンを使ってメールを出そう	1時間
第2時	メールを開いてみよう	1時間(本時分)
本時の目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・信頼されることの喜びを感じ、信頼される人間になろうとする意識を高める。 ・自分を肯定的に認め、「自分らしさ」に自信を持たせる。 		
学習活動	支援と指導上の留意点	備考
1. コンピュータを使い、届いたメールを読む。 2. 読んで思ったことを返信メールとして書く ・とてもうれしかった。ありがとう。 今まで考えたことがなかったことだったのでうれしかった。 ・ありがとう。あなたはもっといいところあるよ。 3. メール本人あてゲームをする。 (1)各グループに分かれる。 (2)メールを公開する順番を決める。 (3)グループごとにコンピュータでメールを公開する。 (4)グループで公開されているメールを受け取った本人について話しあう 4. メールを使ったいいところさがしについて、ワークシートに思ったことを書く (1)メールをもらったとき (2)ゲームに参加したとき 5. 継続したコンピュータの使い方を知る。	・メールソフトを立ち上げ、届いているメール1通ずつ開き読ませる。 ・児童の様子をつかみ、事前調査と比べる。 面と向かっては言えないことでも、メールによって素直に心が出せることをつかませたい。 ・メールをもらった相手に返信メールを出させることで、認めあえる関係を支援する。 ・返信には、さらにいいところを見つけて書き添えることを助言する。 いいところを書いたメールを全員に紹介された本人が、みんなにわかってもらえる時の気持ちを考えさせる。 提示されたメールは、担当グループに紹介させる。 認めてもらったことのうれしさや、今まで気づかなかった自分を発見した喜びに触れている児童の意見を発表させたい。 ・コンピュータを使うメール交換を、今後も続けていけることを紹介し、残りの小学校生活がよりいっそう充実したものとなるようにしていきたい。	ネットワークコンピュータ メールソフト「スタディノート」 ワークシート